

事業提案書

別紙 1

事業計画書

団体名：犬山 生成 AI 実行委員会

事業名	生成 AI 犬山市定着プロジェクト
事業の目的	<p>【背景】</p> <p>犬山市の全住民を対象に生成 AI のエキスパートをオンラインで無償で講師として協力いただき、</p> <p>2023 年 12 月に犬山生成 AI-EXPO を犬山市長の参加及び犬山市役所の発表、犬山市教育委員会の後援を受けてオンラインにて、実施を行った。</p> <p>また、犬山市の全中学校、小学校の生徒宛にチラシを配布することで事前告知を行なった。</p> <p>合計 300 名を超えた参加者になったが、アンケートの結果 11% のみが犬山市民であった。</p> <p>生成 AI の応用は、犬山市民の生活や経済活動に強く影響があることが実証されており、定着を行うために住民を寄り添った活動を継続的に行うことを目的に犬山市定着プロジェクトを進めていく</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none">・ AI の基礎知識と応用方法を犬山市民に普及させ、デジタル時代の新技術への理解と活用能力を向上させる。・ 若年層を中心に AI 技術者を育成し、犬山市にしながら、事業拡大や新規事業創出を行うことで、地域コミュニティの活性化と人材流出防止を目指す。・ AI の活用により地元企業のビジネスチャンス拡大とスタートアップ創造を目指し、地域経済の活性化を促進する。・ 環境問題や高齢化社会への対応など、地域社会の課題解決

	<p>に AI を応用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民一人ひとりがテクノロジーの進展に柔軟に対応できる持続可能な社会の構築を支援する。
<p>事業内容</p>	<p><実施体制></p> <p>経済情報メディアである NewsPicks の生成 AI コミュニティ「Meets AI」出身のメンバーが主体的に構成した「IKIGAI Lab」に所属している生成 AI をビジネスに活用しているスペシャリストを中心にメンバーを構成する。</p> <p>愛知県に居住しているメンバーを代表、副代表、会計の役職に任命。</p> <p>愛知県外に居住しているメンバーはオンラインにて活動を行い、イベント時はビジネスの最前線の講師とともに専門家のメンバーで生成 AI を活用した犬山市での効果と事例、アイデアの交換を行いながらワークショップを行える体制を構築する。</p> <p><対象者></p> <p>年齢層：特に若年層（学生：高校生や大学生、若手ビジネスパーソン、20～30代）を中心に、幅広い年齢層を対象。</p> <p>背景：AI や新技術に興味がある個人、地域社会の活性化に関心がある市民。</p> <p>価値観：技術革新を前向きに捉え、自己発展および地域貢献に意欲的な人々。</p> <p><実施場所></p> <p>施設：フロイデ、犬山市役所、スイーツガーデン</p> <p>※犬山市中心部を中心に、複数の地区でローテーション実施。</p> <p><実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップとセミナー： AI の基礎から応用までを学べるワークショップと、専門家によるセミナーを定期的に関

	<p>催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションと体験セッション：最新のAI技術のデモンストレーションと、それを体験できるセッションを用意。 ・オンライン教育コンテンツ：オンラインでアクセス可能な教育コンテンツを提供し、時間や場所に制約されない学習機会を提供。 ・周知方法：チラシの配布、SNS、地域新聞、公式ウェブサイト、市民会館や図書館での掲示、地域イベントでの告知などを通じて広く周知。 	
事業期間	事業開始予定日	2024年 4月 15日
	事業完了予定日	2025年 2月 28日
事業計画	時期	内容
	4月	<p>事業計画の詳細な策定と準備。</p> <p>「AI-EXPO」の宣伝材料の作成、ウェブサイトとSNSでの告知活動。</p> <p>展示内容、講師、スタッフの選定、会場予約などの事前準備。</p>
	5月	<p>AI-EXPO 第1回目の実施：AI技術の最新動向と基礎知識の紹介。</p> <p>デモンストレーション、ワークショップ、専門家による講演。</p> <p>参加者とのネットワーキングの機会提供。</p>
	6月～10月	<p>オンラインでのフォローアップ、次回EXPOの準備。</p> <p>参加者からのフィードバックの収集と内容の調整。</p>
	11月	AI-EXPO 第2回目の実施：AI技術の実践的応用

	<p>2025 年 1 月～2 月</p>	<p>事例の展示。 パネルディスカッション、インタラクティブなセッション。 成果の共有と将来の技術トレンドに関するディスカッション。 両 EXPO の成果とフィードバックの分析。 最終報告書の作成と提出。</p>
<p>事業の効果</p>	<p>愛知県における最速における犬山市長の生成 AI の試験導入宣言を受けて、環境の下地ができていく状況の中で、生成 AI 定着を行うことで、犬山市の城下町以外における観光資源以外の活動や事業の活性化を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AI 技術の理解促進：技術への恐怖減少、新技術への興味喚起。 ・ 地域コミュニティの活性化： 市民間交流促進、地域課題解決への協力。 ・ 経済活動の促進： 地元企業のビジネス機会拡大、経済活性化。 ・ 地域課題への革新的ソリューション： AI 活用による問題解決、社会的価値の創造。 	
<p>成果目標</p>	<p>AI に関心を持つ市民及び担い手の増加 目標：AI-EXPO 参加者合計 500 人、新たな協力者 10 人獲得。 数値目標：各イベントで 250 人以上の参加、イベント後のアンケートで協力意向を示す者から 10 人以上の協力者を獲得。</p> <p>地域社会のニーズに基づいたプログラムの提供 目標：AI-EXPO を通じた教育プログラムの提供、オンラインフォローアップの実施。 数値目標：2 回の AI-EXPO 実施。</p> <p>AI 技術の普及と理解の深化 目標：参加者の AI 理解度の向上、実践的な応用事例の紹介。</p>	

	<p>数値目標: イベント後のアンケートで 80%以上の参加者が「理解が深まった」と回答、実践的応用事例の紹介 5 件以上。</p> <p>地域コミュニティと経済活動の活性化</p> <p>目標: 地域企業やスタートアップとの連携、新たなビジネスチャンスの創出。</p> <p>数値目標: 地元企業・団体 3 以上との連携、新しいビジネスプロジェクト 2 件以上の立ち上げ。</p>
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年数回の AI イベントを定期開催し、市民との継続的なエンゲージメントと AI 理解の深化を図る。 ・教育プログラムを拡充し、若年層を対象にした AI 技術者と興味者の育成に注力。 ・地域企業やスタートアップと連携し、AI を活用したビジネスモデルの開発と地域経済の活性化を推進。 ・AI 技術を利用して地域固有の課題に対処し、オンラインプラットフォームを通じた知識共有とアクセスの拡大。

※記入欄が不足する場合は、枠を広げて記載してください。

別紙 2

活動費用の内訳書（予算）

(収 入)

団体名 犬山 生成 AI 実行委員会

科目	予算額（円）	内訳
助成金	200,000 円	
協賛費	400,000 円	1 企業：100,000 円/年で募集
参加料	400,000 円	参加料：2000*200 人で計算 ※目標 100 人は協賛企業から参加
合計	1,000,000 円	

(支 出)

科目	予算額（円）	内訳
報償費	200,000 円	特別ゲスト講師 ※生成 AI の最前線にいる会員に属していない講師 20,000 円*5 人*2 回 合計 200,000 円
旅費	400,000 円	交通費：20,000 円*5 人*2 回 合計 200,000 円 宿泊費：10,000 円/泊*5 人*2 泊*2 回 合計 200,000 円 ※講師は主に東京、大阪からご参加 交通費は往復費 2 万円で計算
消耗品費	20,000 円	事務用品 10,000 円*2 回 合計 20,000 円
印刷製本費	50,000 円	イベントチラシ代 25,000 円*2 回 合計 50,000 円 イベントチラシ：7000 部の費用（前回からの実績） 対象：全犬山市の小学校、中学校を中

		心とした地域住民（前回からの実績）
通信運搬費	50,000 円	郵送費 25,000 円*2 回 合計 50,000 円 対象：全犬山市の小学校、中学校を中心とした地域住民（前回からの実績）就労支援事業所に依頼した実績をもとに計算
手数料及び 保険料	0 円	
人件費	260,000 円	運営企画謝礼金 10,000 円*13 人*2 回 合計 260,000 円
使用料及び 賃借料	20,000 円	会場費：10,000 円*2 回 合計 20,000 円
計	1,000,000 円	